伊賀市　事務事業評価シート

一般事務

	コード	名　　称		コード	名　　称
事業名	390	福祉資金貸付事業	会計	01	一般会計
			款	03	民生費
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める	項	03	同和行政費
			目	01	同和行政総務費
担当部課名	大山田支所　人権同和課		細目	102	福祉資金貸付事業
作成者氏名	重本　敏昭	連絡先　46－0140	細々目	01	福祉資金貸付事業

事業の計画・内容

	対象等（何を、誰を）	成果（どうなるのか）
事業の目的	旧大山田村における福祉資金の貸付者	貸付金償還金の奨励を行い、行政が果たすべき公平性の確保を図ることができ、地域改善事業に対する住民の理解が得られる。

本年度事業内容

1．福祉資金貸付金償還者に対し償還指導を行う。滞納者には督促状を発送する。
2．臨戸訪問により、償還相談を行い償還を促すとともに返済意思の確認を行った。

根拠法令・要綱等：大山田村福祉資金貸付けに関する条例

投入資源

			H17	H18（予算）	H19（予算）
①投入人員	正規職員　（人）		0.2	0.2	0.2
	人件費合計（A）		1,440	1,440	1,440
②支出内訳（千円）		事業費（B）	8	37	37
		委託料			
		報酬		28	28
		その他	8	9	9
合計（A+B）			1,448	1,477	1,477
③財源内訳（千円）	特定財源	国県支出金			
		地方債			
		受益者負担			
		その他特財	8	37	37
	一般財源		1,440	1,440	1,440

上記①～③に関する特記事項

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
福祉資金貸付金償還件数	件	7	7	5
督促・催告件数	件	8（延べ）	12	12
償還相談数（臨戸訪問）	件	2	6（延べ）	6

情勢の変化及び事業の改善点等

昨今の社会情勢は、景気の回復傾向にあるものの、企業の倒産、リストラ等、雇用をとりまく情勢は厳しい情勢である。元来、同和地区住民は、不安定な就労条況の中にあることから、貸付金償還金の滞納金額が増加傾向にある。しかし、こうした状況を放置できず、債権回収にあたることが必要であり、適当な手段を模索し対応にあたる。

評価	達成度	3	今後、十分に滞納者の現状を把握するとともに、債権回収に向け担当者のスキルアップに努めたい。
	効率性	3	